

欧州 ～ポピュリストと個性的な髪形～



経済調査部 主席エコノミスト 田中 理 (たなか おさむ)

右派ポピュリストの不気味な共演

トランプ米大統領の就任式の直後、大西洋を挟んだ欧州では急進的な右派ポピュリスト政党の指導者が、「父なるライン川」と「母なるモーゼル川」が交差するドイツ西部のコブレンツで一堂に会していた。「自由な欧州への展望」と題した集会は、デモ隊が取り囲む厳戒態勢下で行われ、多くの欧州メディアの注目を集めた。欧州懐疑主義政党が国を跨いで連携するという話題性やそのタイミングから考えて、今年、欧州各地で行われる選挙戦を睨んだ宣伝活動の一環であったことは言うまでもない。メディアはその片棒を担がされた訳だ。

出席者の顔触れは、3月のオランダ総選挙で第1党への躍進が予想される「自由党」ウィルデルス党首、4・5月のフランス大統領選の有力候補「国民戦線」のルペン党首、9月のドイツ連邦議会選挙で初の議席獲得が確実視される「ドイツのための選択肢」のペトリー党首など、何れも欧州政界で注目を集めるアウトサイダー達だ。

興味深いのは、“指先介入”で国内外に波紋を広げている米トランプ大統領の「カーリーなバーコード・ヘア」、英国を欧州連合(EU)離脱に導いたジョンソン外相の「ぼさぼさ風おっかっぱストレート」、欧州の反イスラム運動の旗

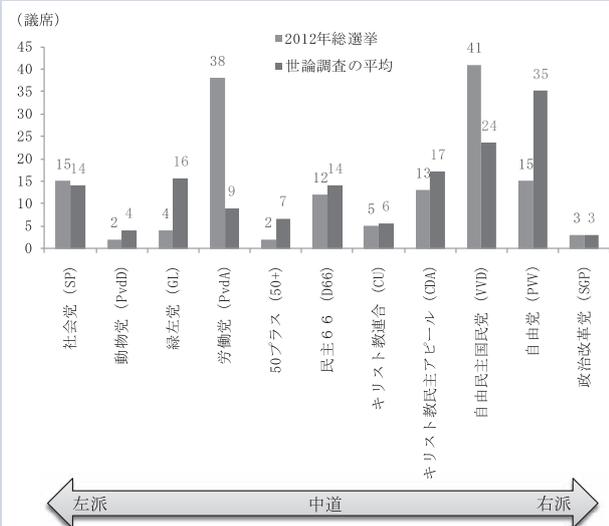
手で今回の集会にも出席したウィルデルス氏の「銀髪オールバック」など、大衆扇動型の政治家には実に個性的な髪形が多いことだ。人を外見で判断してはいけないが、反エリート主義の自己演出とも取れる。

オランダ政界の風雲児ウィルデルス

ウィルデルス氏が注目を集めるのは髪形ばかりではない。同氏は自由で寛容なオランダの伝統を脅かし、政教分離や男女平等といった西洋的価値観を否定する存在として、1990年代から厳しいイスラム批判を展開。近年は欧州難民危機、テロへの恐怖、反エリート意識を追い風に、既存政党に不満を感じる国民から支持を拡大してきた。他方、党員から極右思想の持ち主を排除、自ら党員を教育し、質の高い議員を輩出。ソーシャルメディアを積極活用し、政治と国民との距離を縮めた先駆者でもある。欧州各国の右派ポピュリストはウィルデルス氏の成功に多くを学んでいる。

3月15日に迫るオランダの総選挙では、ウィルデルス氏の自由党が第一党になると目されている。多極共存型の民主主義の伝統が根付くオランダでは、常時10以上の政党が議会で議席を有し、単独で政権運営を行うことはない。他党は自由党との連立に否定的なため、自由党が第1党となった場合も、反EU政権の誕生は阻止されるとの見方が一般的だ。ただ、自由党を連立から除外すれば、5党或いは6党の合意が必要となる。連立協議の難航は避けられず、オランダの政局不安が継続するまま、ポピュリズムの次の標的となるフランスの大統領選に突入することになりそうだ。連立協議が暗礁に乗り上げ、自由党抜きでの政権発足が困難となった場合、“離脱ドミノ”への不安が再び欧州を駆け巡ることになりかねない。

資料1 オランダの政党別予想獲得議席数



(出所) Peil資料より第一生命経済研究所が作成
(注) 2016年以降の世論調査の平均値

資料2 オランダ連立組み合わせと予想議席

連立参加政党	議席数	備考
VVD PvdA	33	現在の連立
VVD CDA	41	第一次ルッテ政権
PVV VVD CDA	76	自由党を含む右派
VVD CDA D66	55	中道右派3党連立
VVD CDA D66 50+	61	中道右派4党連立
VVD CDA D66 50+ PvdA	70	中道5党連立
VVD CDA D66 GL CU	76	中道5党連立

(出所) Peil資料より第一生命経済研究所が作成
(注) 2016年以降の世論調査の平均値に基づく想定議席数